

ブラジルの政策金利の引き下げについて

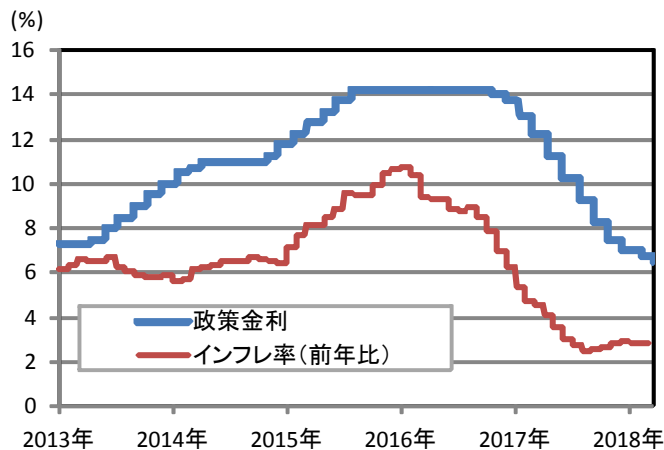
2018年3月21日（現地時間）、ブラジル中央銀行は、COPOM（金融政策委員会）において、Selic（政策金利）を0.25%引き下げ、年率6.50%とすることを決定しました。

前回2月会合後の中央銀行の声明では、金融緩和サイクルの終了に向けて、政策金利を据え置く可能性が示唆されましたが、その後インフレ率が想定を下回る状況が続いていることなどから、今回も前回同様の引き下げ幅で利下げが決定されました。

また、今回の声明ではインフレ上昇率が緩慢で、目標水準への収束が遅れるリスクに言及しており、次回5月会合での追加利下げの可能性も示唆されるなど、従前のシナリオよりも緩和サイクルの終了時期が先送りとなる見通しが示されています。

市場では、インフレ率は想定以上に弱いものの、ブラジル経済は過去の景気後退から回復しており、2016年10月以降続いた大幅な金融緩和サイクルは、今年いずれかの時期に終了すると見込まれています。また、今年秋に予定されている大統領選挙や、社会保障など構造改革の行方が経済に与える影響なども考慮しながら、中央銀行は慎重に金融政策を運営していくものと思われます。

ブラジルの政策金利とインフレ率の推移
 (2013年1月1日～2018年3月21日)



ブラジルの政策金利と変化幅

日付	政策金利 (%)	変化幅 (%)
2017年9月6日	8.25	-1.00
2017年10月25日	7.50	-0.75
2017年12月6日	7.00	-0.50
2018年2月7日	6.75	-0.25
2018年3月21日	6.50	-0.25

* 政策金利: Selic を使用。

* 出所: ブラジル中央銀行、ブルームバーグのデータよりBNPパリバ・アセットマネジメント株式会社作成

本資料のお取り扱いにおけるご注意

- 本資料はBNPパリバ・アセットマネジメント株式会社が上記の時点で作成したものです。特定の金融商品の取得勧誘を目的としたものではありません。
- 本資料における統計等は、当社が信頼できるとされる外部情報等に基づいて作成しておりますが、その正確性や完全性を保証するものではありません。
- 本資料中の情報は作成時点のものであり、予告なく変更する場合があります。